

第78番札所 仏光山 広徳院 郷照寺

— 瀬戸大橋を望む気持ちのいい高台で、厄除け祈願を —

本尊：阿弥陀如来（秘仏）
所在地：香川県綾歌郡宇多津町1435
TEL：0877-49-0710
宿坊：なし



瀬戸大橋のたもとにある四国の玄関口、宇多津町。寺町らしい風情も残る町外れの青ノ山の高台に郷照寺があります。

四国の入り口ということもあり、多くの高僧や名僧が訪れた歴史をもち、四国霊場で唯一「時宗」の寺。創建は、奈良時代の725年、行基によって開かれており、その後807年に、唐から帰国した弘法大師が訪れ、自らの像を刻み厄除けを祈願したと伝わっています。以来、郷照寺は「厄除けうたづ大師」として親しまれるようになりました。

このお大師さまをまつる大師堂は、大正時代に再建された建物で、いつでも中に入れるよう解放されています。ぜひ間近で大師像を拝観して厄除け祈願を。また、境内には、病魔を取り除くといわれる青面金剛がまつられている庚申堂や、病氣平癒に靈験あらたかな撫で仏様も安置されています。

本堂は江戸時代に再興されたもので、屋根の形は、東大寺大仏殿などに見られる奈良様式の造りです。反り返った二層の屋根が勢いを感じさせます。その屋根と反するように、格子天井にほどこされた、繊細な花の彫刻はなんともやさしい表情です。

